

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 遊歩の会

令和5年度 法人本部 事業報告書

1. 事業実施期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日

2. 概要

○今年度の成果

経営面では感染症で利用率が左右されることはなくなったが、一部の事業所で利用者を増やす事ができず、法人全体の資金収支でも黒字化できなかった。利用者獲得のためのプロジェクトチームを中心に、メディアの活用（ホームページ、インスタグラム等）や新聞折り込みチラシ、相談支援事業所へのPRを行い利用契約へ繋げることもできたが、更なる新規利用者を増やしていけるよう取組みを継続していきたい。

建替えに関しても、使用できる土地範囲の協議・確定を終え、完成図や予算等が明確になってきた。長崎市へ補助金申請書類を1月に提出し、ヒヤリングも行われた。国との協議の対象事業としての取扱いとして優先順位第2位との通知があった。3月には長崎市へ現有建物の払い下げ申請を行い受理された。年度内に売買契約締結の予定だったが、見積合わせにおいて法人の想定金額を大きく上回り不調で終了した。借り入れに関してはメインに福祉医療機構を予定し融資相談を2回受けた。

職場環境については、企業面談会等への積極的な参加、インターンシップ受入準備、学校訪問等により若年者へのアピールや採用に力を入れてきた。「ユースエール」認証については申請まで至らず、事業所運営についても、第三者評価を受ける準備は思うように進まなかった。

法人行事の「ゆうほまつり」は通常開催し、利用者、ご家族からも好評であった。地域においても古賀地区まちづくり協議会への参加により、古賀地区における課題や魅力を再認識でき、法人として協力できることの実践に努めた。

○次年度の課題

- ・法人経営の安定化（全事業所 利用率100%を目指す）
- ・手元資金の充実
- ・施設建替え実行に向けての諸準備
- ・地域貢献活動の継続

3. 職員体制

職 名	氏 名
理事長	橋口 幸恵
本部長	山口 聡
業務執行理事	松浦 晃己
業務執行理事	三浦 宏
新規事業準備室長・支援アドバイザー	馬場 友香里
主任・事務員	前田 忍
事務員（準職員）	上村 麻衣

法人全体

R 5 . 4 . 1	職員 4 3 名、特別職員 1 名、準職員 1 9 名、短期登録職員 6 名	計 6 9 名
↓	<ul style="list-style-type: none"> ・入職 (職員 9 名、準職員 4 名、短期登録職員 1 名) ・退職 (職員 4 名、特別職員 1 名、準職員 5 名) 	
R 6 . 4 . 1	職員 4 6 名、準職員 2 1 名、短期登録職員 5 名	計 7 2 名

4 . 理事会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第 1 回	5 月 2 7 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 50	理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 令和 4 年度事業報告 令和 4 年度決算報告・監査報告 社会福祉充実残額の報告・充実計画について 就業規則改訂案 賃金規程改訂案 役員(理事・監事)の選任候補者案 役員報酬(理事長)の減額について 令和 5 年度第 1 回評議員会の開催について	遊歩の会 2 階
第 2 回	6 月 1 7 日 (土) 16 : 00 ~ 16 : 20	理事長選任について 業務執行理事の選任について	遊歩の会 1 階
第 3 回 (臨時)	9 月 2 6 日 (火) 決議の省略	就業規則改訂案 賃金規程改訂案	書面
第 4 回	1 1 月 1 1 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 00	理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 経理規程改訂案 車両管理規程改訂案 文書管理規程改訂案 児童デイサービスゆうみんの新規事業(児童発達支援)について	遊歩の会 2 階
第 5 回	R6. 1 月 6 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 00	社会福祉施設整備計画協議書(補助金申請)提出 について 建物(古賀町 949 番地)の売買契約について	遊歩の会 2 階
第 6 回	3 月 2 3 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 50	理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 令和 5 年度第 1 次補正予算案 令和 6 年度事業計画案 令和 6 年度収支予算案 賃金規程改訂案 経理規程改訂案 資金借り入れについて	遊歩の会 2 階

5. 評議員会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第1回	6月17日(土) 14:00~15:20	令和4年度事業報告 令和4年度決算報告・監査報告 社会福祉充実残額の報告・充実計画について 任期満了に伴う役員(理事・監事)の選任について	遊歩の会1階

6. 監事による監査

- (1) 監査実施日 令和5年5月12日(金) 10:00~16:00
- (2) 監査内容 令和4年度の法人の事業報告及び会計収支決算ならびに財務状況等
- (3) 監査報告 令和5年5月20日に監査報告あり。理事会5/27、評議員会6/17に報告および長崎市長へ報告
- (4) 定期監査(会計) 7/14、9/15、11/22、1/22、3/18、4/23 の計6回
法人の財務状況に関し全般的な監査

7. 行政実地指導監査 実施なし

8. 法人指導監査 実施なし

9. 事故等件数

本部事業所内：事故0件、発生8件、ヒヤリハット28件、苦情1件
 法人全体：事故報告(行政報告事例)3件...利用者の骨折、急変
 発生報告の内、交通事故(軽微接触含む)15件、利用者職員の怪我(受診)7件

10. 年間行事(研修・会議等)

	全体	事業所内
4月	入社式、イオン黄色いレシート贈呈式、合同運動会、法人歓迎会	
5月	感染症対策委員会、避難訓練、車両担当者研修	環境整備、避難訓練
6月	人事考課	
7月	遊歩の会だより発行、AED講習(地区センター)	
8月	古賀地区納涼夏祭り参加	環境整備
9月	感染症対策委員会	
10月	入社式、感染症対策委員会、青年協会おくんち前夜祭参加	
11月	避難訓練、インフルエンザ予防接種、家族会バスハイク	環境整備、避難訓練(地区センター合同)
12月	感染症対策委員会、人事考課、ゆうほまつり、法人忘年会	
1月	感染症対策委員会、心身障害者団体連合会成人式参加	初詣(矢上神社)
2月	遊歩の会だより発行、法人研修、健康診断	環境整備
3月	感染症対策委員会	

通年行事	辞令交付式(対象月)、本部会議(週1回)、 管理者会議(月1回)、運営委員会(月1回)、 税理士巡回(月1回)、社会保険労務士巡回(月1回)、 嘱託医巡回(月1回)、プロジェクト会議、 ゆうほまつり実行委員会、合同運動会実行委員会	職員会議(月1回)、 事業所内研修(月1回)、 サポート面談(月1回)
------	---	---

○必須研修

- ・虐待防止研修
各事業所にて「虐待防止法の理解」R6.1月
集合研修「身近な支援と虐待の関係に気付こう」R6.2.19(月)19:00～、20(火)19:00～
- ・ハラスメント対策研修
各事業所にて「ご利用者やご家族からのハラスメントに関する職員研修」9～10月
- ・感染症対策研修
各事業所にて「食中毒予防について」6月
各事業所にて「ノロウイルス等での嘔吐物の対処・消毒法について」11月

○その他の研修等

- ・支援アドバイザーによる支援研修
5/26「身体介護基礎編～着脱介助～」17名
10/27「食べること・飲みこむことの支援」12名
2/29「対話力を高めよう～精神看護の基礎より～」12名
- ・新規事業プロジェクト
進捗会議(随時)、県外研修(12/16-17 東京就労フォーラム2名、3/14-15 鹿児島事業所見学4名)
7/11 法人研修「理念実現のためのプロジェクト」(遊歩の歩みと今後の事業イメージ共有)
- ・法人内監査6～8月:事業所巡回(ファイリングチェック、環境チェック、法令遵守チェック等)
- ・職員交換研修 4/19～6/17(ゆうゆう・ぷれぷれ)、2/13～17(ゆうほ・遊歩)
- ・キャリア別研修
新人研修:理念・規則・マナー・制度・事業所体験等の入社時プログラム 4月～、10月～
3年目研修:理念・キャリアアップ・会議・PDCA サイクル 1/19
5年目研修:理念・役割・ファシリテーション・チームによる企画自主研修 2/16～
管理職研修:4/9(日)13:00～17:00 「バーンアウトを理解し防ぐ」
9/28(木)19:00～20:00 「就業規則・賃金規程の改定について」
11/12(日)9:00～16:00 人事考課「評価者研修」
- ・フォローアップ面談(入社・異動3ヶ月後)

11. 寄付金品等

- | | | |
|-----------|------------------|----------|
| 1. 現金 2件 | 樋口様(ぷれぷれ遊歩元利用者) | 200,000円 |
| | たかすぎ内科クリニック様 | 150,000円 |
| 2. 55型テレビ | 株式会社 安心電気 様 | |
| 3. ギフト券 | イオン黄色いレシートキャンペーン | 35,200円 |
| 4. 菓子 | ぷれぷれ遊歩利用者ご親族様 | |

6. 会計

別添報告書参照

7. 職員研修

知的障がい者福祉協会日中支援部会全国大会

障がい児・者支援施設職員初任者研修

長崎県強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)

安全運転管理者講習

事業所視察 滋賀県, 鹿児島県

法人研修: 「虐待防止」「感染症予防」「ハラスメント対策」「3年目研修」「5年目研修」

「考課者研修」「事業所間交流研修」

事業所内研修(サポーターズカレッジ・その他)

8. 今年度の成果

- ・終礼の定着。情報共有の時間になった。
- ・「強度行動障害支援者養成講習(基礎編・実践編)」受講修了者が増え、対象者の支援手順書を作成。支援の見直し、加算の取得につながった(対象者7人)
- ・感染症が拡大することがなく閉所することが無かった。
- ・移乗ロボットの導入。職員の介助負担軽減になっている。
- ・他事業所との協力体制がとれるようになってきた。
- ・交流研修を通じて、自事業所の支援について見直すことができた。また、他事業所の普段の様子や利用者について知ることができた。
- ・利用者に対しての声掛け(呼称)が徹底されてきた。

9. 来年度への課題

- ・新規利用者獲得。利用率アップ。
- ・事業所建て替えに向けての準備。(建物, 活動内容の精査)。
- ・職員の確保。
- ・活動前のラジオ体操, 食事前の口腔体操を毎日行う。
- ・活動内容を充実させる。目的を明確にした計画を立てる。

令和5年度 相談支援事業所あゆむ 事業報告書

1. 事業実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日 8時30分から17時30分
日曜、祝日、国民の休日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況

R5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	24	25	293
障害児相談	児更新	3	4	3	3	3	6	0	1	4	4	0	3	34
	相談モ二	7	12	19	12	12	14	5	8	15	10	12	5	131
	サービス提供時加算	18	11	18	16	18	9	3	4	18	10	17	0	142
計画相談	相談更新	8	10	4	4	4	10	4	2	11	11	2	6	76
	児モ二	3	4	1	1	1	3	6	2	2	5	1	0	29
	サービス提供時加算	32	28	27	20	26	28	27	26	29	24	12	0	279

* 令和6年3月末契約者数 障害児相談 25名 計画相談 85名 計 110名
(平成5年4月～令和6年3月 新規契約: 3名 契約終了: 10名)

4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・ 1名「ゆうほ」と兼務：阪上

相談支援専門員・・・・・・・・ 1名以上 各事業所管理者が兼務：酒井、松浦、三浦、中村、馬場

相談支援専門員補助（事務担当）・・ 1名「ゆうほ」と兼務：若杉

5. 事業内容

(1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。

(2) 特定相談支援事業等の運営は、市町村、障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努める。

(3) 特定相談支援事業等の実施にあたっては、利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者又は障害児の保護者の立場に立って、計画作成対象障害者等に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者等に不当に偏ることのないよう、公正中立に行われるよう努める。

事業の実施地域は、長崎市、諫早市、時津町、長与町（事業所から片道30分圏内）

特定計画相談支援等の提供方法及び内容

- (1) 日常生活全般に関する相談
- (2) 地域の障害福祉サービス事業者等への情報提供
- (3) サービス利用計画又は障害児支援利用計画の作成及び評価
- (4) 訪問による継続的なモニタリング
- (5) 前各号に付帯する便宜

(6)(1)から(4)に付帯するその他必要な相談支援、助言等。

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修等

- ・法人研修:「虐待防止」「感染症予防」 全職員
- ・相談支援専門員現任研修 中村
- ・やがみの会(東長崎地区相談支援部会) 阪上、馬場

8. 今年度の成果

- ・毎月月初めに会議継続実施。
情報共有、困難事例について話し合うことができ、チームとして取り組むことができた。
- ・現在の兼務体制のリズムをつかむことができた。
- ・相談支援のソフト見直し。1月からミラクルQへ。経費削減。また、オンラインでログインできるため、あゆむに出向かず、書類作成ができるようになった。

9. 来年度への課題

- ・担当者会議の実施。
- ・人材育成(担当者会議への参加を促す。他事業所、家庭訪問時に同行してもらう。
- ・ヘルパー、短期入所、事業所の開拓
- ・相談支援部会への参加。他事業所との連携強化、情報収集を目指す。

令和5年度 児童デイサービスゆうゆう 事業報告書

1. 事業実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日
 平日 学校終了後～17:30
 学校休業日 9:00～16:00
 日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く
3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	25	25	294
延べ利用者数	212	219	240	232	230	222	237	229	217	218	229	265	2750
平均利用者数	8.8	9.1	9.2	9.3	9.2	9.3	9.5	9.5	9.0	9.5	9.2	10.6	9.3
前年度平均利用者数	9.4	9.6	9.2	8.5	7.8	8.6	9.8	9.5	7.8	8.0	8.7	9.6	8.9

4. 職員勤務体制

- 管理者兼児童指導員・・・1名(常勤1名)
- 児童発達支援管理責任者・・・1名(常勤1名)
- 心理指導担当職員・・・1名(常勤1名)
- 保育士・・・1名(常勤1名)
- 児童指導員・・・5名(常勤3名、非常勤2名)[常勤1名休業中]
- 児童指導員兼事務員・・・1名(常勤1名)

5. 事業内容

- (1) 日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。
(食事、排泄、更衣等)
- (2) 社会適応訓練：公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場に応じた行動が出来るような支援を行った。宿泊活動を行い、夕食作りや入浴、工作等を友達と一緒に体験する機会を設けた。
(ふれあいセンター、図書館、買い物、青年の家、公園等の利用)
- (3) 創作的活動：様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分で選んで参加をしたり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
日頃の活動を披露する場として、8月に発表会を開催した。
- (4) 相談支援：要保護対応協議会、相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)
- (5) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (6) 延長：ご家庭の状況に応じ、対象の方に対して延長支援を行った。
- (7) 事業所通信の発行：ゆうゆうニュースを毎月1回発行し、活動の様子をご家族に伝えた。
- (8) 保護者交流会、保護者勉強会：11月に親子工作、ゆうゆうカフェと保護者交流会を開催した。
2月祝日にHi-ho!にて保護者勉強会(障害福祉サービスの説明見学等)、保護者交流ランチ会を開催した。当日は開所とし、利用者は事業所で活動を行った。
- (9) 事故報告(0件) 発生報告(45件) ヒヤリハット(121件)

7. 職員研修その他

- ・ AED 救命講習
- ・ 令和 5 年度 障害児者支援施設職員初任者研修
- ・ 令和 5 年度 長崎県強度行動障害支援者養成研修（基礎）
- ・ 甲種防火管理新規講習
- ・ 虹の原特別支援学校 学校公開
- ・ 法人研修「感染症対策研修・食中毒予防」
- ・ 法人研修「理念実現のためのプロジェクト」
- ・ 法人研修「虐待防止研修」
- ・ 法人研修「ハラスメント研修」
- ・ 法人研修「感染症対策研修・ノロウイルス当の嘔吐処理・消毒方法について」
- ・ 法人人事考課研修「評価者ミーティング」
- ・ 管理職者研修「バーンアウトを理解し防ぐ」
- ・ 管理職者研修「就業規則・賃金規程の改定説明」
- ・ 管理職者研修「評価者研修」
- ・ 法人支援研修「身体介護基礎編～着脱介助～」
- ・ 法人支援研修「食べること、飲み込むことへの支援」
- ・ 法人支援研修「対話力を高めよう～精神看護の基礎より～」
- ・ ぷれぷれ事業所内研修「意思決定支援」
- ・ 事業所内研修「演習・滅びゆく地球からの脱出計画」
- ・ 事業所内研修「コミュニケーションについて学ぼう」
- ・ 事業所内研修「放課後等デイサービスの役割とは」
- ・ 事業所内研修「強度行動障害の理解と支援」
- ・ 事業所内研修「応用行動分析」
- ・ 事業所内研修「5領域の支援を理解しよう」
- ・ 事業所内研修「室内遊びのバリエーションを増やす」

8. 今年度の成果

- ・ 事業所発信や口コミ、相談支援事業所との連携から、来年度の利用者獲得を今年度中に行うことができた。
- ・ 対象児童複数名に対して、要保護児童対策地域協議会へ参加した。
- ・ 大人の事業所との交流の機会をもつことができた。
- ・ 平日の活動プログラムを強化することができた。
- ・ オゾン発生器や空気清浄機を用い、感染症対策を行った。また、定期的に環境整備の日を設け、事業所内や送迎車内、おもちゃ等の除菌作業に取り組んだ。
- ・ 感染症については、感染者が出たこともあったが、事業所を閉所するほど蔓延することはなかった。また、時代の流れもあり、感染症での利用控えもほぼなかった。
- ・ 新規採用の職員の退職等なく、定着させることができた。

9. 来年度への課題

- ・ 利用率の定着
- ・ 保育所等訪問支援との連携

- ・利用者家族支援
- ・主任、心理指導担当職員の育成
- ・個別支援計画、週案、活動プログラムの強化
- ・地域交流

令和5年度 児童デイサービスふれふれ遊歩 保育所等訪問支援ふれふれ

事業報告書

1. 事業実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日
平日 学校終了後～17:30
学校休業日 9:00～16:00
日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く
保育所等訪問支援 10:00～17:00
3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

* 放課後等デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	24	25	294
延べ利用者数	274	244	272	283	277	274	272	247	266	246	259	285	3199
平均利用者数	11.4	10.2	10.4	11.3	10.7	11.3	10.9	10.3	11.1	10.7	10.8	11.4	10.9
前年度平均利用数	11.4	12.3	10.9	10.7	11.6	11.1	11.8	11	11.1	12.3	13.2	12.6	11.7

* 保育所等訪問支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	24	25	294
延べ利用者数	0	5	5	7	0	10	9	11	10	10	10	12	89
前年度平均利用数	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

4. 職員勤務体制

- 管理者・・・・・・・・・・1名(常勤兼務)
 児童発達管理責任者・・・・1名(常勤兼務)
 児童指導員・・・・・・・・・・2名(常勤1名・非常勤1名)
 保育士・・・・・・・・・・3名(常勤2名・非常勤1名)
 指導員・・・・・・・・・・1名(常勤)
 非常勤指導員・・・・・・・・・・1名(非常勤)
 事務員兼児童指導員・・・・1名(常勤)

5. 事業内容(放課後等デイサービス)

- (1) 日常生活訓練: 活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための指導を行った。(食事、排泄、更衣、入浴・歯磨き等)
- (2) 社会適応訓練: 公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような指導を行った。(映画、図書館、買い物、カラオケ、ボーリング、科学館、公園等の利用)
- (3) 創作的活動: 様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
- (4) レクリエーション: 家族を招待して行事活動を行った。
- (5) 相談支援: 相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)

- (6) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (7) 事業所通信の発行：ぷれぷれニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。
- (8) 事故報告(0件) 発生報告(10件) ヒヤリハット(76件)

事業内容(保育所等訪問支援)

- (1) 集団活動における基本的動作の訓練及び援助
- (2) 集団活動先の職員への相談援助
- (3) 対象児保護者への相談援助及び連絡報告
- (4) 個別支援計画・モニタリングを通じたの発達支援

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

法人研修(事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策 年4回)

サポーターズカレッジ研修(月1回)

事業所内研修(月1回)

第1回管理者研修 バーンアウトを防ぐ

第1回支援研修 身体介護基礎編～着脱介助～

第1回感染症対策委員会 食中毒について学ぼう

初任者研修 長崎県知的障がい福祉協会

AED研修 主催：長崎市消防局

法人研修 理念実現のためのプロジェクト

中堅職員研修会 主催：長崎県社会福祉協議会

強度行動障がい支援養成研修(実践) 主催：南高愛隣会

LITALICO研修教材サービス 主催：LITALICO 児童施設ソリューション部

第1回感染症対策委員会 ノロウイルス感染症における嘔吐物等の対処・消毒法について改正障害者差別解消法について 主催 大河内直之

ひとりにしない、社会で支えるケアラー支援 主催：長崎県ケアラー支援シンポジウム

ワークショップ『からだ探検隊』の取りくみ 主催："長崎大学 子どもの心の医療・教育センター"

評価者研修 評価者の目線合わせ 主催：ゆうゆう田中児童発達支援管理者

それって支援？虐待？身近な支援に気づこう 主催：遊歩の会

8. 今年度の成果

- ・今年度は通所希望者も多く平均10.9名と前年度に比べ減少したが定員を超える数値で事業運営においては安定していた。
- ・職員数は配置基準を超える職員を配置することにより手厚い支援を行うことができた。
- ・8月のぷれぷれ発表会、2月の佐賀への外出活動、エールを送る会等、活動内容もコロナ禍前に近づき、充実していた。

9. 来年度への課題

- ・報酬改定がありより厳しい人員配置が見込まれる。また支援に対しての記録の取り方等、変更しつつ新しい報酬へ対応していく必要がある。

- ・利用者の平均年齢が低下したことによる活動内容、環境整備、支援方法の工夫が必要。
- ・職員の専門性が必要となってくるため研修や職員のスキルアップが必要。

令和5年度 児童デイサービスゆうみん 事業報告書

(放課後等デイサービス・児童発達支援)

1. 事業実施期間 放課後等デイサービス：令和5年4月1日から令和6年3月31日
児童発達支援：令和6年1月1日から令和6年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日
平日 9:30～17:30
学校休業日 8:00～16:00
日曜、祝祭日、国民の休日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	24	25	293
延べ利用者数(放デイ)	156	162	178	168	197	167	165	171	186	166	181	214	2111
延べ利用者数(児発)										1	4	8	13
平均利用者数	6.5	6.8	6.9	6.7	7.7	7.0	6.6	7.1	7.8	7.3	7.7	8.9	7.3
前年度平均利用者数	7.5	7.5	7.7	7.0	5.4	6.6	8.4	7.9	7.3	8.5	9.3	8.8	7.7

4. 職員勤務体制

管理者兼児童指導員・・・1名(常勤)
児童発達支援管理責任者・・・1名(常勤)
保育士・・・2名(常勤)
児童指導員・・・3名(常勤1名、非常勤2名)
児童指導員兼事務員・・・1名(非常勤)

5. 事業内容

- (1)日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。(食事、排泄、更衣等)
- (2)社会適応訓練：公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような支援を行った。(公園の利用、外食活動、公共交通機関への乗車、買い物活動)
- (3)創作的活動：様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
- (4)レクリエーション：家族や地域との合同活動をおこなった(ゆうほまつり、お楽しみ会)
- (5)相談支援：相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)
- (6)送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (7)事業所通信の発行：ゆうみんニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。
- (8)事故報告(0件) 発生報告(38件) ヒヤリハット(109件)

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

法人研修

虐待防止研修

ハラスメント研修

感染症予防研修

遊歩の会 支援研修

(身体介護基礎編、食ること・飲み込むことの支援)

管理職者研修

評価者研修

ゆうゆう研修会(コミュニケーションについて学ぼう)

ぶれぶれ研修会(意思決定支援について)

ゆうみん研修会(サポーターズカレッジ、ミニ研修会、保護者会)

AED救命講習

長崎市障害者自立支援協議会こども部会 全体会

長崎市障害者自立支援協議会こども部会 基礎講座

令和5年度地域療育短期実習(集団療育コース、幼児保育コース)

長崎県立長崎特別支援学校 学校公開

相談支援専門員初任者研修会

令和5年度長崎県相談支援従事者現任研修

令和5年度サービス管理責任者等研修実践研修

東長崎地区発達勉強会

リタリコ研修教材サービス ソフト説明会

令和5年度 長崎県障害者虐待防止・権利擁護研修会

8. 今年度の成果

- ・令和5年度中の新規契約利用者：5名
- ・夏休みの終わりに保護者や学校の先生を招いての発表会を実施。活動時の子ども達の様子を見てもらう機会になった。
- ・感染症の発生はあったが、事業所内で広がることはなかった。
- ・令和6年1月より、児童発達支援事業を開始し、地域の利用者を受け入れやすくなった。今後の遊歩の会の放課後等デイサービス事業の安定や、利用者増に向けての動きにつなげていく。

9. 来年度への課題

- ・職員のスキルアップ
- ・関連機関との連携強化
- ・利用者の確保
- ・報酬改定に伴う対応(支援計画や記録の取り方)

令和5年度 グループホーム・ショートステイ 遊歩の家 事業報告書

1. 事業実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

2. 開所日および開所時間 年中無休

3. 開所日数および利用状況

グループホーム ユニット (女性) 6名(5月より7名)

ユニット (男性) 7名

ショートステイ ユニット (男女兼用) 1名

ユニット	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
平均利用者数	12.7	13.2	13.4	13.8	13.1	12.7	13.5	13.5	13.3	12	13.3	13.4	13.1
延べ利用者数	382	409	412	413	407	381	418	405	412	373	385	414	4811
前年度平均利用者数	11.4	11.6	12.7	12.3	11.9	12.3	12.3	12.4	11.4	11.5	12.3	12.3	12

ショートステイ

延べ利用者数	32	26	20	18	23	27	32	37	30	26	39	37	347
稼働率(日数)	106%	84%	57%	60%	74%	90%	103%	123%	97%	84%	134%	119%	95%
前年度平均利用者数	70%	70%	100%	90%	70%	70%	80%	80%	70%	80%	90%	80%	79%

4. 職員勤務体制

管理者 1名(非常勤兼務)

サービス管理責任者 1名(常勤)

生活支援員 5名(常勤) 内兼務2名、その他補助支援員

世話人 6名(常勤 3名、非常勤 3名)

5. 事業内容

(1) 共同生活支援事業(グループホーム)

- ・利用者に対する相談
- ・食事の提供
- ・健康管理・金銭管理の援助
- ・余暇活動の支援
- ・緊急時の対応
- ・職場等との連絡調整
- ・財産管理等の日常生活に必要な援助
- ・一時的に体験的な利用が必要と認められる者に対する前各号に掲げるサービスの提供(以下、「体験的な利用」という。)

(2) 短期入所事業(ショートステイ)

- ・入浴の介助、又は清拭
- ・排せつの介助
- ・食事の介助
- ・その他の必要な介助
- ・健康管理
- ・送迎サービス

(3) 事故報告(1件) 発生報告(7件) ヒヤリハット(88件)

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

(法人外研修)

長崎県強度行動障害支援者養成研修(基礎)
長崎県強度行動障害支援者養成研修(実践)
AED 研修
強度行動障害研修(基礎)
強度行動障害研修(実践)
ICT オンライン研修
改正障がい者差別化使用法オンライン研修
事業所運営に役立つ情報研修
日中活動支援部会近畿地区大坂大会
長崎県ケアラー支援シンポジウムについて
喀痰吸引研修

(サポーターズ・カレッジ/ネット視聴)

4月 ハラスメントについて
5月 障がい者との関係構築
6月 精神障害とは
7月 障害者福祉とは
8月 知的障がい者の理解
9月 グループホーム概念
10月 高次脳機能障がい
11月 ダウン症について
12月 発達障害に寄り添う支援
1月 高度行動障害とは
2月 障がい者虐待について
3月 てんかんについて

(法人内・事業所内研修)

食中毒について
ノロウイルスについて
ハラスメントとは何か?
理念現実の為のプロジェクト
理念・マナー・規則・支援
ハラスメント研修
それって支援? 虐待?
車椅子乗車体験
緊急避難脱出口体験
文書管理業務
報告・連絡・相談について
評価者研修
管理者研修
サビ管研修

(支援研修)

第1回支援研修 着脱について
第2回支援研修 食べる事、飲み込むことの支援
第3回支援研修 対話力を高めよう
~精神看護の基礎より~

*誤嚥研修

*意思決定支援について考える

8. 今年度の成果

*グループホーム

- ・感染症対策も十分に対応でき、感染者は出たものの大きな広がりはなかった。
- ・お楽しみ会、余暇活動の充実により利用率の向上と利用者の満足度も高められた。
- ・ロボット導入支援事業の活用により全室に眠りセンサーを設置。夜間帯や病気で就寝時に健康状態を把握できるようになった。
- ・医療連携加算(週一回の訪問)を活用することにより看護師の訪問と相談、緊急時の電話連絡による対応の指示ができるようになった。

*ショートステイ

- ・定期利用者や緊急受け入れ等、個々のニーズに対応することにより、利用継続へと繋がった。

- ・年間を通じ、一定の利用率を維持することができた。

9. 来年度への課題

*グループホーム

- ・報酬改定による減額が見込まれるため今後の体制の見直しが必要
- ・女性スタッフの増員
- ・コロナウィルスが落ち着いた後の感染対策の充実
- ・建物の維持管理

*ショートステイ

- ・緊急受け入れに対する急な予定の迅速な対応。
- ・常に情報収集に努め、できる限り職員同士と共有する。

令和5年度 障害福祉サービス事業所遊歩 事業報告書

1. 事業実施期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日 9:30～16:00
日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く
3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員各10名)
生活介護 (atelier Wonder-ho!)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	25	25	294
延べ利用者数	158	186	182	165	169	175	186	180	165	152	166	205	2089
平均利用者数	6.6	7.8	7.0	6.6	6.8	7.3	7.4	7.5	6.9	6.6	6.6	8.2	7.1
前年度平均利用者数	3.8	4.4	4.4	4.8	4.5	4.8	4.3	5	4.7	4.5	5.3	5	4.7

就労継続支援B型 (working share Hi-ho!)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	24	26	25	25	24	25	24	24	23	25	25	294
延べ利用者数	171	170	176	165	165	160	174	151	149	152	170	205	2008
平均利用者数	7.1	7.1	6.8	6.6	6.6	6.7	7.0	6.3	6.2	6.6	6.8	8.2	6.8
前年度平均利用者数	6.2	6.2	6.5	6	6.3	5.5	5	5.2	5	5.4	6.4	6.6	5.9

4. 職員勤務体制

- 管理者兼生活支援員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名 常勤兼務 (相談支援事業所あゆむ)
- サービス管理責任者兼生活支援員・・・・・・・・・・ 1名 常勤
- 生活支援員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12名 常勤5名
非常勤7名
- 生活支援員兼看護師・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名 常勤兼務
- 運転士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名 非常勤
- 製菓作業員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名 非常勤

5. 事業内容

(1) 活動内容

生活介護 (atelier Wonder-ho!)

絵画、貼り絵、折り紙、パソコンでの造形など利用者の強みを活かした芸術活動。

利用者のデザインの商品化。その他日常生活支援 (食事・排せつ介助等)。

就労継続支援B型 (working share Hi-ho!)

給食提供に係る調理補助作業、飲食店運営に関わる調理補助・接客作業、その他付随する軽作業、就労に必要な研修

(2) 地域活動

外出活動：季節ごとの外出活動

生活介護・就労継続支援B型合同での外出活動

(3) 実習受け入れ

鶴南特別支援学校高等部（職場体験実習）

虹の原特別支援学校高等部（職場体験実習）

(4)その他

利用者面談、健康診断、環境整備活動、避難訓練、保護者会、事業所通信の発行

(5)地域貢献

地域の子どもたち向けの陶芸教室、工作教室の開催

(6)事故報告（2件） 発生報告（28件） ヒヤリハット（129件）

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修

外部研修

障害児者支援施設職員初任者研修会

AED救命講習

創作体感・作品展示ワークショップ&講演会

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

就労支援フォーラム NIPPON2023

交流&実践セミナー はじめの一步

安全運転講習

日中活動支援部会全国大会近畿地区大阪大会

こどもの高次脳機能障害～特性の理解と向き合い方～

長崎県障害者虐待防止・権利擁護研修会

「しょうぶ学園」事業所視察研修

事業所内研修

「滅びゆく地球からの脱出計画」ワーク研修

「ABC分析って何？」

「バイスティックの7原則」

「工房まる」「多機能型事業所みらい」「PICFA」事業所見学研修

「バイスティックの7原則」を現場で生かしての振り返り

「生きる会議を考える」

「生きる会議を考える」

「障害者虐待防止法の理解」

「ソーシャルスタイル理論～より良い人間関係を築くために～」

「個別支援会議とケース記録」

法人研修

支援研修「身体介護基礎編～着脱介助～」

支援研修「食べる事・飲み込むことの支援」

支援研修「対話力を高めよう～精神看護の基礎より～」

評価者研修

それって支援？虐待？～身近な支援と虐待の関係に気づこう～

管理職研修「賃金規程・就業規則について」

管理職研修「バーンアウトを理解し防ぐ」

法人内事業所間交流研修

「感染症対策研修・食中毒予防」

「理念実現のためのプロジェクト」

「ハラスメント研修」

「感染症対策研修・ノロウイルス当の嘔吐処理・消毒方法について」

8. 工賃の支払い

就労継続支援 B 型

R4 年度

実績工賃額 年間総支給額 1,716,250 円

R5 年度

目標工賃額 年間支給総額 1,560,000 円（一人当たり月平均工賃 15,000 円）

実績工賃額 年間支給総額 1,706,731 円（一人当たり月平均工賃 21,044 円）

・工房事業収入は 4 年度より増えたが、物価高騰による材料費の仕入れと経年劣化に伴う消耗品の仕入れが増えており、総支給額は令和 4 年度を下回った。

生活介護

R4 年度

実績工賃額 年間総支給額 43,441 円

R5 年度

目標工賃額 年間総支給額 120,000 円（月平均 10,000 円）

実績工賃額 年間総支給額 37,169 円

・店舗での商品の売上げの伸び悩みにより前年度、目標を下回った。

9. 今年度の成果

- ・利用率については 5 年度平均利用率で両事業ともに目標月平均 9 名に対し、生活介護 7.1 名、就労継続支援 B 型 6.8 名と伸び悩んだが、3 月においては両事業ともに 8.2 名と増やすことができた。
- ・ART 活動の発信として市役所展示ホールでの作品展など発表の機会を増やすことができた。
- ・ガジェットプリンタの導入により、ART 商品のバリエーションが増えた。
- ・就労継続支援 B 型の工房事業収入は 4 年度と比べ 1,000,000 円ほど上げることができた。しかし、物価高騰等のおりもあり工賃増額までは至ることができなかった。
- ・事業所内研修において、その都度課題を抽出し事業所の現状に沿った研修を行うことができた。また、リモートが多かった外部研修も集合研修の機会が増え参加する事での職員の外部交流の機会を増やすことができた。
- ・夏休みと冬休みに地域への工作教室等を設けることで地域交流、貢献の取り組みを始めることができた。

10. 来年度への課題

- ・就労継続支援 B 型の作業の確保
- ・hand made café Hi-ho!への集客増
- ・就労継続支援 B 型の在り方についての検討
- ・外部団体や企業との連携、発信
- ・職員のスキルアップ